

野間秀樹 | 研究業績一覧

●2012年8月10日現在

●目次

1. 著書 2. 論文 3. その他の著作 4. 対談・インタビュー記事など
5. 学会発表・講演 6. 文部科学省科研費／公的資金による研究課題
7. 現代美術の分野における活動

著書

■ 1. 著書 -----

■ 1.1 著書 [単著] -----

- 1) 『길 朝鮮語への道』
1988年4月発行. 総243頁. 東京:有明学術出版社
- 2) 『〈朝鮮語への道〉準拠 練習問題集』
1989年1月発行. 総62頁. 東京:アジア学生文化協会
- 3) 『朝鮮語分類基礎語彙集』
野間秀樹編 1998年3月27日発行. 東京:東京外国語大学語学教育研究協議会.
- 4) 『暮らしの単語集 韓国語』
1999年6月18日発行 総416頁. 東京:ナツメ社. ISBN4-8163-2551-4
- 5) 『至福の朝鮮語』, 『新・至福の朝鮮語』
2000年5月16日発行 総296頁. ISBN4-255-00026-3 C0087
2007年5月1日初版. 2007年10月10日第2版. 総297頁. 東京:朝日出版社
- 6) 『한국어 어휘와 문법의 상관구조』 (韓国語 語彙と文法の相関構造)
노마 히데키 [野間秀樹] 著. 서울(ソウル): 태학사(太学社).
2002年2月20日発行. 総444頁. ISBN 89-7626-742-7.
*大韓民国学術院 2003年優秀学術図書
- 7) 『絶妙のハングル』
2007年2月15日発行. 東京:日本放送出版協会. 総192頁. ISBN978-4-14-039452-6.
- 8) 『ハングルの誕生——音(おん)から文字を創る』 2010年5月15日発行. 総369頁. 東京:平凡社.
ISBN978-4-582-85523-4.
*第22回アジア・太平洋賞大賞受賞. *日本図書館協会選定図書
- 9) 『한글의 탄생 ——〈문자〉라는 기적』 (ハングルの誕生——〈文字〉という奇跡)
노마 히데키 [野間秀樹] 著. 金珍娥・金奇延・朴守珍共訳. 파주(坡州=パジュ): 돌베개(トルベゲ).
2011年10月9日初版第1刷発行. 10月20日初版第2刷発行. 12月23日4刷発行. 2012年6月20日8刷発行. 総448頁. ISBN 978-89-7199-444-3
*「東亜日報」2011年〈今年の本〉に選定. 「朝鮮日報」2011年〈今年の本〉に選定. 教保文庫 2011年〈今年の本〉に選定.

1.2 著書 [単編単著;共著] -----

- 9) 『韓国語教育論講座 第1巻』
2007年4月25日. 総727頁. 東京:くろしお出版. 野間秀樹編著. ISBN 978-4-87424-374-9

- 10) 『韓国語教育論講座 第4巻』
2008年1月25日. 総817頁. 東京:くろしお出版. 野間秀樹編著. ISBN 978-4-87424-410-4
- **) 『韓国語教育論講座 第2巻』
2012年9月下旬-10月上旬刊行予定. 総847頁. 東京:くろしお出版. 野間秀樹編著.
ISBN978-4-87424-566-8

1.3 著書 [共著] -----

- 11) 『朝鮮語を学ぼう』
1987年10月発行. 菅野裕臣他と共著. 総342頁. 東京:三修社. ISBN4-384-01506-2
- 12) 『コスモス朝和辞典』
1988年11月10日. 菅野裕臣他と共著. 総1053頁. 東京:白水社. ISBN-4-560-00096-4
- 13) 『朝鮮語初級読本』
朝鮮語学科研究室編 (菅野裕臣他と共編). 1990年3月. 総352頁.
東京:東京外国語大学語学教育研究協議会
- 14) 『朝鮮語文体範例読本』
朝鮮語学科研究室編. 1992年3月 (菅野裕臣他と共編). 総379頁.
東京:東京外国語大学語学教育研究協議会
- 15) 『ハンゲル学習の手引き』
ハンゲル能力検定試験出題基準検討委員会. 油谷幸利・朴宰秀・野間秀樹・曹喜澈・呉文淑・金珍娥共編著.
2002年10月9日発行. 総164頁. 東京:ハンゲル能力検定協会発行. ISBN4-938758-90-3.
- 16) 『ぷち韓国語』
野間秀樹・村田寛・金珍娥著. 2004年7月20日発行. 総283頁. 東京:朝日出版社.
ISBN4-255-00286-X.
- 17) 『NHK ラジオアンニョンハシムニカハンゲル講座 応用編』
(入門編)増田忠幸・(応用編)野間秀樹著. 2004年7月号-9月号, 2005年7月号-9月号.
東京:日本放送出版協会.
- 18) 『Viva! 中級韓国語』
野間秀樹・金珍娥著. 2004年10月1日発行. 総323頁. 東京:朝日出版社. ISBN978-4-255-00289-7, ISBN4-255-00289-4.
- 19) 『Campus Corean はばたけ! 韓国語』
野間秀樹・村田寛・金珍娥著. 2007年4月1日発行. 総215頁. 東京:朝日出版社.
ISBN978-4-255-55604-8
- 20) 『ニューエクスプレス韓国語』
野間秀樹・金珍娥著. 2007年11月20日. 総160頁. 東京:白水社. ISBN978-4-560-06782-6
- 21) 『きらきら韓国語』
野間秀樹・金珍娥・中島仁・須賀井義教著. 2010年6月30日. 総237頁. 東京:同学社.
ISBN978-4-8102-0268-7

1.4 監修書 -----

- 1) (野間秀樹監修) 『イージーハンゲル』 ユン・ソナ著.
2002年9月18日. 東京:学習研究社. ISBN4-05-401810-6.
- 2) (野間秀樹監修) 『韓国語アップグレード もぎたてのソウルマル』 中西恭子著.
2004年2月. 東京:明石書店. ISBN4750318663

- 3) (野間秀樹監修) 『朝鮮半島の文字「ハングル」と言葉』「世界の文字と言葉入門」シリーズ.
こどもくらぶ著. 2004年4月. 東京:小峰書店. ISBN 433819703X
* 全国学校図書館協議会選定図書
- 4) (野間秀樹監修) 『韓国語文法辞典』白峰子著.
大井秀明訳. 2004年9月10日発行. 総 537 頁. 東京:三修社. ISBN4-384-00224-6
- 5) (野間秀樹監修) 『NHK テレビ アンニョンハシムニカ ハングル講座』金珍娥著.
放送:NHK 教育テレビ 2005年4月-2006年3月. テキスト:東京:日本放送出版協会.
- 6) (野間秀樹監修) 『韓国語用言—活用と用例』金美仙著.
総 242 頁. 2006年11月発行. 東京:三修社. ISBN 978-4384054590
- 7) 野間秀樹監修. 金珍娥著. 『ドラマティック・ハングル—君, 風の中に』.
2012年4月10日. 総 301 頁. 東京:朝日出版社. ISBN978-4-255-00639-0

論文

2. 研究論文 -----

■ 2.1. 修士論文 [単著] -----

- 「〈할것이다 harges'ida〉の研究—現代朝鮮語の用言の mood 形式をめぐって」
東京外国語大学大学院. 1989年3月

■ 2.2. 論文 [*印以外は全て単著] -----

- 1) 「〈하겠다 hageissda〉の研究—現代朝鮮語の用言の mood 形式をめぐって」
『朝鮮学報』129 輯 pp.1-73(総 73 頁) 朝鮮学会 1988年10月
- 2) 「〈할것이다 harges'ida〉の研究—再び現代朝鮮語の用言の mood 形式をめぐって」
『朝鮮学報』134 輯 pp.1-64(総 64 頁) 朝鮮学会 1990年1月
- 3) 「現代朝鮮語の名詞分類—語彙論・文法論のために」
『朝鮮学報』135 輯 pp.1-59(総 59 頁) 朝鮮学会 1990年4月
- 4) 「朝鮮語のオノマトペ —擬声擬態語の境界画定、音と形式、音と意味について—」
『学習院大学言語共同研究所紀要』第 13 号(1990) pp.24-47(総 24 頁)
学習院大学言語共同研究所 1991年7月
- 5) 「朝鮮語のオノマトペ —擬声擬態語と派生・単語結合・シンタックス・テキストについて—」
『学習院大学言語共同研究所紀要』第 14 号(1991) pp.75-88(総 14 頁)
学習院大学言語共同研究所 1992年7月
- 6) 「現代朝鮮語の対格と動詞の統辞論」
『言語研究』 pp.77-168(総 92 頁) 東京外国語大学語学研究所 1993年3月
- 7) 「現代韓國語의 接續形 <-다가>에 對하여—aspect・taxis・動詞分類—」
(現代朝鮮語の接續形<-daga>について—aspect・taxis・動詞分類—)
『朝鮮学報』149 輯 pp.1-62(総 62 頁) 朝鮮学会 1993年10月
- 8) 「現代朝鮮語の語彙分類の方法」
『言語研究』 pp.45-68(総 24 頁) 東京外国語大学 1994年3月
- 9) 「바람직한 한국어 교재란? — 일본어 화자의 경우」(望まじき朝鮮語教材とは? —日本語話者の場合)
『語学研究所論集』第 1 号 pp.51-81(総 31 頁). 東京外国語大学語学研究所 1996年3月
- 10) 「한국어 문장의 계층구조」(朝鮮語の文の階層構造)

- 《언어학 'en'ehag》(言語学) pp.133-180 (總 48 頁) 서울(ソウル): 한국언어학회
(韓國言語学会). 1996 年 12 月
- 11) ‘한국어의 대우법 체계’(現代朝鮮語の待遇法体系)
《말 mar》第 21 輯 pp.15-54 (總 40 頁). 서울(ソウル): 延世대학교 延世語學院 韓國語學堂
1996 年 12 月
- 12) ‘1980 년대 이후 일본에서의 현대 한국어 문법론, 어휘론 연구: 언어사실주의의 전개 i’
(1980 年代以降の日本における現代朝鮮語文法論・語彙論研究 — 言語事實主義の展開)
《韓國文化》18 pp.73-109 (總 37 頁). 서울(ソウル): ソウル대학교 韓國文化研究所 1996 年
12 月
- 13) 「朝鮮語と日本語の連体修飾節(冠形節)構造」
『朝鮮文化研究』第 4 号 pp.100-128 (總 29 頁). 東京大学文学部朝鮮文化研究室 1997 年 3 月
- 14) 「朝鮮語の文の構造について」
『国立国語研究所報告日本語と朝鮮語の対照研究3 日本語と朝鮮語』
pp.103-138 (總 36 頁) 国立国語研究所(くろしお出版発売) 1997 年 6 月
- 15) ‘한국어 모어화자의 일본어 피치악센트 교육을 위하여’ (韓國語母語話者の日本語ピッチアクセ
ント教育のために)
『韓日語文学論叢』梅田博之教授古稀記念論叢刊行委員会編
pp.651-675 (總 25 頁). 서울(ソウル): 太學社. 2001 年 4 月 24 日
- 16) ‘일본어권 한국어 교사의 기본 조건’ (日本語圏韓國語教師の基本条件)
《국어교육연구》(國語教育研究) 제 9 집. pp.39-67 (總 29 頁). 서울(ソウル): 서울대학교
국어교육연구소(ソウル대학교 國語教育研究所) 2002 年 3 月 30 日
ISSN1227-8823
- 17) ‘한국어 단어결합론의 심화를 위하여’(韓國語單語結合論の深化のために)
《국어학 gug'ehag》(國語学) jei 39 jib. pp.361-396(總 36 頁). 國語學會編.
서울(ソウル): 太學社發行 2002 年 6 月 30 日.
- 18) ‘한국어 문법교육의 새로운 전개를 위하여’ (韓國語文法教育の新たな展開のために)
《외국어로서의 한국어 교육》(外國語としての韓國語教育) jei 27 jib. (第 27 輯).
pp.83-101(總 19 頁). 서울(ソウル): 연세대학교 언어교육원 한국어학당
(延世대학교 言語研究教育院 韓國語學堂). 2002 年 12 月 31 日.
- 19) ‘일본어 모어화자 학습자를 위한 한국어 기초 학습어휘 선정과 제시 방법’
(日本語母語話者學習者のための韓國語基礎學習語彙選定と提示方法)
《한 국어 교육과 학습 사전》(韓國語教育と學習辭典) pp.133-157(總 25 頁).
서울(ソウル): 연세대학교 언어정보개발연구원(延世대학교 言語情報開發研究院). 서울(ソウ
ル): 한국문화사(韓國文化社) 刊. 2001 年 10 月.
- 20) ‘일본 대학 대학원의 한국어 교육’ (日本の大学の大学院における韓國語教育)
《한국어 교육》제 14 권 2 호. 2003 年 9 月. pp. 83-106. 서울(ソウル):
국제한국어교육학회(國際韓國語教育學會 IAKLE)
- 21) 「朝鮮語母語話者の日本語ピッチアクセント教育のために」
『韓國語母語話者の日本語音聲 研究論文集』 pp.57-71(總 15 頁). 2003 年 3 月 31 日. 東京外
國語大學外國語學部 鮎澤研究室
- 22) Noma(2005) When Words Form Sentences; Linguistic Field Theory: From Morphology
through Morpho-Syntax to Supra-Morpho-Syntax.
"Corpus-Based Approaches to Sentence Structures." Usage-Based Linguistic Informatics
2. Edited by Toshihiro Takagaki, Susumu Zaima, Yoichiro Tsuruga, Francisco
Moreno-Fernández and Yuji Kawaguchi. pp.51-75(總 25 頁). Amsterdam/ Philadelphia:
John Benjamins. 2005 年 4 月.

- 23) 「韓国と日本の韓国語研究——現代韓国語の文法研究を中心に——」
『日本語学』2005年7月号. vol.24. no.8. pp.16-31. 東京:明治書院
- 24)* 나카지마 히토시(中島仁)と共著. ‘일본의 한국어 교육’(日本の韓国語教育)
《한국어 교육론 1》(韓国語教育論 1). 국제한국어교육학회編. pp.195-221(總 27 頁).
2005年6月30日. 서울(ソウル): 한국문화사(韓国文化社)
- 25)* 나카지마 히토시(中島仁)と共著. ‘일본의 한국어 교재’(日本の韓国語教材)
《한국어 교육론 3》(韓国語教育論 3). 국제한국어교육학회編. pp.263-298(總 36 頁).
2005年6月30日. 서울(ソウル): 한국문화사 hangugmunhoasa(韓国文化社)
- 26) '단어가 문장이 될 때: 언어장 이론 - 형태론에서 통사론으로, 그리고 초형태통사론으로'(単語が文となるとき: 言語場理論——形態論から統辞論へ,そして超形態統辞論へ)
“Whither Morphology in the New Millennium? 21세기 형태론 어디로 가는가?” (『21世紀形態論, 이즈こへ』)pp.89-121(總 33 頁). eds. Youn-Kun Ko, et al. Seoul: 박이정 Pagijong Press. 2006年4月25日.
- 27) '현대 한국어의 용언의 분석적인 형태에 대하여'(現代韓国語の用言の分析的な形について)
“Whither Morphology in the New Millennium? 21세기 형태론 어디로 가는가?” (『21世紀形態論, 이즈こへ』)pp.297-318(總 22 頁). eds. Youn-Kun Ko, et al. Seoul: 박이정 Pagijong Press. 2006年4月25日.
- 28) 「現代朝鮮語の丁寧化のマーカ-*yo/iyo* について」
『朝鮮学報』第199輯・200輯合併号. pp.37-81(總 45 頁). 2006年7月. 天理:朝鮮学会.
- 29)* 金珍娥と共著. 「NHK(일본방송협회) 텔레비전 교육 방송을 통한 한국어 교육(NHK(日本放送協会)テレビ教育放送による韓国語教育)」
『한국어 교육(韓国語教育)』제17권 2호. 2006년 8월 1일. pp.95-134(總 40 頁). 서울(ソウル): 국제한국어교육학회(國際韓国語教育学会)
- 30) 「試論:ことばを学ぶ根拠はどこに在るのか——韓国語教育の視座——」
『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.1-50(總 50 頁). 2007年4月25日発行.
東京:くろしお出版
- 31)* 中島仁と共著. 「日本における韓国語教育の歴史」
『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.69-93(總 25 頁). 2007年4月25日発行.
東京:くろしお出版
- 32) 「音声学からの接近」
『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.221-255(總 35 頁). 2007年4月25日発行.
東京:くろしお出版
- 33) 「音韻論からの接近」
『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.257-277(總 21 頁). 2007年4月25日発行.
東京:くろしお出版
- 34) 「形態音韻論からの接近」
『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.279-329(總 51 頁). 2007年4月25日発行.
東京:くろしお出版
- 35) 「動詞をめぐる」
『韓国語教育論講座第1巻』野間秀樹編著. pp.489-520(總 32 頁). 2007年4月25日発行.
東京:くろしお出版
- 36) 「言語存在論試考序説 I——言語はいかに在るか——」
『韓国語教育論講座第4巻』野間秀樹編著. pp.321-353(總 33 頁). 2008年1月25日発行.
東京:くろしお出版
- 37) 「言語存在論試考序説 II——言語を考えるために——」

- 『韓国語教育論講座第4巻』野間秀樹編著. pp.355-400(総 46 頁). 2008 年 1 月 25 日発行.
東京:くろしお出版
- 38) 「韓国語学のための文献解題——現代韓国語を見据える——」
『韓国語教育論講座第4巻』野間秀樹編著. pp.515-534(総 20 頁). 2008 年 1 月 25 日発行.
東京:くろしお出版
- 39) 「音と意味の間に」
『國文學』2008 年 10 月号. 第 53 卷 14 号. pp.58-69(総 12 頁). 東京:學燈社.
- 40) 「現代朝鮮語研究の新たなる視座:〈言語はいかに在るか〉という問いから——言語研究と言語教育のために——」
第 59 回朝鮮学会大会公開講演. 2007-2009 年度科学研究費補助金基盤研究(C)報告書.
pp.1-133(総 133 頁). 東京:東京外国語大学大学院地域文化研究科野間秀樹研究室
- 41) 「朝鮮語の教科書が目指すもの」
『外国語教育研究』. 第11号. 2008年11月1日. pp.129-151(総 23 頁). 東京:外国語教育学会
- 42) 노마 히데키 [野間秀樹]:‘언어를 배우는 〈근거〉는 어디에 있는가——한국어 교육의 시점——’(ことばを学ぶ(根拠))どこにあるのか——韓国語教育の視点——)
“한글”(『ハングル』). 282 호. 2008 년 겨울치. 한글 학회 창립 100 돌 기념 특집. 2008 년 12 월 30 일. pp.235-276(総 42 頁). 서울(ソウル): 한글 학회(ハングル学会)
- 43) 노마 히데키 [野間秀樹]:‘대우표현과 대우법——몇 가지 시각’(待遇表現と待遇法——いくつかの視角)
“한국어교육 연구”(『韓国語教育研究』). pp.57-103(総 47 頁). 2009 년 제 4 호.
大田:배재대학교 한국어교육 연구소(培材大学校韓国語教育研究所)
- 44) 「ハングル——正音エクリチュール革命」
『國文學』2009 年 2 月号. 第 54 卷 2 号. 2009 年 2 月 10 日. pp.46-55(総 10 頁). 東京:學燈社.
- 45) 「現代朝鮮語研究の新たなる視座:言語はいかに在るかという問いから——言語研究と言語教育のために」
『朝鮮学報』第 212 輯. pp.1-66(総 66 頁). 2009 年 7 月. 天理:朝鮮学会.
- 46) 「引用論小考」
『朝鮮半島のことばと社会——油谷幸利先生還暦記念論文集』油谷幸利先生還暦記念論文集刊行委員会編. 2009 年 11 月. 東京:明石書店
- ** 「文法論の基礎概念 (1)文法基礎論, (2)言語の階層, (3)形態論, (4)文法範疇論, (5)文法論の単位と対象」
『韓国語教育論講座第 2 巻』野間秀樹編著. pp.7-145(総 139 頁). 2012 年 9 月下旬-10 月上旬刊行予定. 東京:くろしお出版
- ** 「文をめぐる」
『韓国語教育論講座第 2 巻』野間秀樹編著. pp.199-234(総 36 頁). 2012 年 9 月下旬-10 月上旬刊行予定. 東京:くろしお出版
- ** 「文の階層構造」
『韓国語教育論講座第 2 巻』野間秀樹編著. pp.235-282(総 48 頁). 2012 年 9 月下旬-10 月上旬刊行予定. 東京:くろしお出版
- ** 「待遇表現と待遇法を考えるために」
『韓国語教育論講座第 2 巻』野間秀樹編著. pp.521-570(総 50 頁). 2012 年 9 月下旬-10 月上旬刊行予定. 東京:くろしお出版
- ** 「表現様相論からの接近」
『韓国語教育論講座第 2 巻』野間秀樹編著. pp.649-668(総 20 頁). 2012 年 9 月下旬-10 月上旬刊行予定. 東京:くろしお出版

その他の著作

■3. その他の著作 [単著] -----

- 1) 「語彙の部屋(1)-(12)」『基礎ハングル』第1巻第1号-第12号. (各号2頁). 東京:三修社.
1985年5月-1986年4月
- 2) 「ハングルの書体」『基礎ハングル』第1巻第2号. pp.46-49(総4頁). 東京:三修社. 1985年6月
- 3) 「朝鮮語のタイプライタ」『基礎ハングル』第1巻第7号. pp.54-57(総4頁). 東京:三修社. 1985年11月
- 4) 「朝鮮語の擬声語・擬態語」『基礎ハングル』第1巻第8号. pp.48-51(総4頁). 東京:三修社. 1985年12月
- 5) 「アランについて」
『TEACHER'S MANUAL / FIRST English Series』東京:三省堂 1989年3月
- 6) 「朝鮮語とはどのような言語か」
『TEACHER'S MANUAL / FIRST English Series』東京:三省堂 1990年3月
- 7) 「故 志部昭平博士の研究業績について」
『故 志部昭平先生の業績と思い出』東京:朝鮮語研究会 pp.31-37. 1994年8月
- 8) ‘일본에서의 한국어 교육’(日本における朝鮮語教育)
“말글생활”(言語生活) 第3号 pp.160-171 (総12頁). 서울(ソウル):말글社 1995年2月
- 9) 「朝鮮語」
『外国語学がわかる』Aera Mook 14 pp.36-37 (総2頁). 朝日新聞社 1996年6月
- 10) ‘한국어를 알뜰게 잘하는 외국사람을 골탕먹이는 방법 서설’ (朝鮮語が憎たらしいほどに上手な外国人をぎゃふんと言わせる方法序説)
“계간 한글사랑”(季刊ハングル愛)第2号 pp.263-267 (総5頁). ソウル:한글사 1996年10月
- 11) “일본어화자의 한국어 학습에 나타나는 발음상의 제문제: phonemic unit 와 prosody, 특히 pitch 에 대하여’ (日本語話者の朝鮮語学習に現れる発音上の諸問題: phonemic unit と prosody, とりわけピッチについて)
“SICOPS '96 : The First Seoul International Conference on Phonetic Sciences”
(第1回ソウル国際音声学術大会) 発表要旨集 pp.268-273 (総6頁). 서울(ソウル):大韓音声学会 1996年10月
- 12) 「日本の大学における朝鮮語教育とコンピュータ」『コンピュータ&エデュケーション』. vol.3 1997. コンピュータ教育利用協議会(CIEC)会誌. 東京:柏書房. pp.56-59(総4頁) ISBN4-7601-1564-1
- 13) 「最もオノマトペが豊富な言語」
『月刊言語』1998年5月号. vol.27, No.5 pp.30-34 (総5頁) 大修館書店 ISSN 0287-1696
- 14) 「朝鮮語(韓国語)の手紙」『郵政』1998年7月号 p.13. 東京:郵政弘済会
- 15) 「朝鮮語」『世界の言語ガイドブック 2 アジア・アフリカ地域』. 東京外国語大学語学研究所編. 1998年3月10日発行 pp.168-184(総17頁). 東京:三省堂. ISBN4-385-35815-X
- 16) (翻訳)宋敏著「日本語系統論について」『韓国語と日本語のあいだ』
1999年12月15日発行 pp.99-116(18頁). 東京:草風館. ISBN4-88323-113-5 ¥4,800
- 17) 「朝鮮語学ゼミ」『東外大ニュース』no.103. 2000年3月24日
p.13 (総1頁) 東京外国語大学東外大ニュース発行委員会
- 18) (翻訳校閲)『外国人児童生徒のための日本語指導:第5分冊—韓国語(朝鮮語)版 文法説明』
東京外国語大学留学生日本語教育センター編 翻訳:宋美玲
2001年3月30日発行 (総124頁)

- 19) 「オノマトペと音象徴」
『月刊言語』2001年8月号. vol.30, No.9. pp.12-18 (総7頁) 東京:大修館書店 ISSN
0287-1696
- 20) 「湖がパンチャクパンチャク輝いた——朝鮮語のオノマトペ」
『月刊言語』2001年8月号. vol.30, No.9. pp.54-55 (総2頁) 東京:大修館書店 ISSN
0287-1696
- 21) 「韓国ポップスとことば」
『月刊しにか』2001年9月号. vol.12, No.9. pp.114-117(総4頁) 東京:大修館書店 ISSN
0915-7247
- 22) (翻訳監修)東京外国語大学留学生日本語教育センター編著
『実力日本語 単語・文法解説書』(上)韓先熙 訳 (下)金恩愛 訳
発行:アルク. 発売:凡人社 2001年10月1日発行. (総231頁)
(上) ISBN4-89358-477-4 (下) ISBN4-89358-488-X
- 23) 「5級 筆記の講評」「5級 聞き取り・書き取りの講評」
『第18回「ハングル」能力検定試験 〈3級・4級・5級〉問題と解答』
pp.130-151, pp.164-170 (総28頁). ハングル能力検定協会編著, 発行. ISBN4-938758-89-X.
- 24) 'Korean'
“Encyclopedia of Linguistics” Philipp Strazny (ed.). 2005.2. 2 volumes. vol.1.
pp.579-584(総6頁). New York: Fitzroy Dearborn. ISBN1-57958-391-1
- 25) 「まえがき」「大質問館」(連載)
『NHK テレビ アンニョンハシムニカ ハングル講座』
2005年4月号—2006年3月号. 東京:日本放送出版協会.
- 26) 「15位占める大言語, 話し手は7千万人超:世界で息づく朝鮮語——もはや朝鮮半島だけの言葉ではない」『イオ』2006年3月号. p.10. 東京:朝鮮新報社.
- 28) 「『エスペラント日本語辞典』の快樂」
『エスペラント La Revuo Orienta』2006年. 東京:日本エスペラント学会
- 29) 「書物をつくる——ことばを学び=教えるために」
『月刊言語』2007年10月号. pp.6-7. 東京:大修館書店
- 30) 「韓国語, 私の原点」
『韓国語ジャーナル』2009年冬, 27号. 2009年1月19日. pp.16-17. 東京:アルク
- 31) 「ハングルという文字から普遍を問う」
『月刊百科』. 2010年7月号. pp.4-5. 東京:平凡社
- 32) 「ハングルの誕生——音(おん)から文字を創る」(講演抄録)『日韓文化交流基金 NEWS』. no.56.
2010年12月28日号. pp.6-7. 東京:日韓文化交流基金
- 33) 「〈文字〉という奇跡」
『週刊読書人』. 2011年1月7日号
- 34) 「嬉しい韓国語」
『月刊百科』. 2011年1月号. vol.579. pp.4-5. 東京:平凡社
- 35) 「韓国語を楽しく学ぶために」
『エスペラント La Revuo Orienta』. 2011年4月1日. pp.20-21. 東京:日本エスペラント学会
- 36) 「韓国語をさらに楽しく学ぶために」
『エスペラント La Revuo Orienta』. 2011年5月1日. pp.18-19. 東京:日本エスペラント学会
- 37) 「韓国語をいよいよ楽しく学ぶために」
『エスペラント La Revuo Orienta』. 2011年6月1日. pp.18-19. 東京:日本エスペラント学会
- 38) 「ハングルー——〈文字〉という奇跡:第4回「エスペラントの日」記念公開講演録」
『エスペラント La Revuo Orienta』. 2011年11月1日. pp.17-19. 東京:日本エスペラント学会

- 39)「ハングル誕生」「ハングルの採用したチアチア語」
『文字を楽しむ小事典』町田和彦編. pp.32-36, p.178. 東京:大修館書店
- 40)「訓民正音の誕生」『イオ 이어』. 2012年5月号. 東京:朝鮮新報社
- 41)「東京外語会主催 文化講演会」『東京外語会会報』No.125. pp.54-56. 2012年6月1日. 東京:東京外語会

対談・インタビュー記事など

■ 4. 対談・インタビュー記事など-----

- 『경향신문(京郷新聞)』2008年8月29日. 対談. ‘한글 학회 창립 100 돌 기념 대담’(ハングル学会創立百周年記念対談) (리의도 교수와 대담).
- 『民団新聞』8・15特集. 2010年8月15日
- 『東亜日報』2010年10月28日
- 『アジア時報』2010年11月号, 12月号. 東京:アジア調査会
- 『朝鮮新報』2011年2月18日
- 『東亜日報』「世界の中のハングルに出会う」2011年10月4日.
- 『Noblesse 노블레스』2012年3月号. ソウル
- 『북커 Booker』2012年. Issue 14. ソウル:教保文庫
- 『京郷新聞』2012年6月1日. 「アルファベット・ロードの終着地(ハングル)は東方の極に現れたエクリチュールの奇跡」

学会発表・講演など

■ 5. 学会発表・講演-----

■ 5.1. 学会発表-----

- 1) 「〈ssista〉・〈ppalta〉, 〈洗う〉等 ey 對 haye — 日本語 wauy 對照 lo pon 朝鮮語動詞 uy 意味 wa 用法 ey 對 han 考察」第15回朝鮮語研究会. 1984年12月17日. 東京:東京外国語大学
- 2) 「keyss の研究について」第31回朝鮮語研究会. 1986年11月17日. 東京:拓殖大学.
- 3) 「〈hakeyssta〉の研究 — 現代朝鮮語の用言の mood 形式をめぐって」第36回朝鮮語研究会. 1987年6月30日. 東京:東京外国語大学
- 4) 「〈하짚다 hakeyssta〉の研究 — 現代朝鮮語の用言の mood 形式をめぐって」第39回朝鮮学会大会. 1988年10月2日. 天理:天理大学
- 5) 「朝鮮語の教科書・学習書について — 『길 朝鮮語への道』と『朝鮮語の本』の場合を中心に」第56回朝鮮語研究会. (伊藤英人と共同発表)1989年7月18日. 東京:神田外語学院
- 6) 「朝鮮語の名詞分類」第40回朝鮮学会大会. 1989年10月8日. 天理:天理大学
- 7) 「李孝石の文体を読む——レトリックの花咲く頃」朝鮮文学研究会. 1990年3月10日. 東京:東京外国語大学
- 8) 「朝鮮語のオノマトペ」第2回アジア語研究会. 1990年3月30日. 東京:学習院大学
- 9) 「現代朝鮮語の対格語尾-lul/-ul の統辞論」第90回朝鮮語研究会. 1990年10月27日. 東京:神田外語学院
- 10) 「最近刊行された辞書について——用例・単語結合をめぐって」第98回朝鮮語研究会. 1993年7月6日. 東京:神田外語学院
- 11) 「故志部昭平博士の業績について」第99・100回朝鮮語研究会記念大会. (浜之上幸と共同発表) 1993年9月25日. 東京:東京外国語大学

- 12) 「現代朝鮮語の接続形-다가について」第 99・100 回朝鮮語研究会記念大会. 1993 年 9 月 25 日.
東京:東京外国語大学
- 13) 「現代朝鮮語の体言分類と用言分類の方法」1993 年度日本語教育研究連絡協議会報告. 1993 年
12 月 4 日. 東京:国立国語研究所
- 14) 「現代韓國語의 對格과 動詞의
統辭論」第 20 回韓國国語学会共同研究会. 1993 年 12 月 17 日. 韓国城南:韓国精神文化研究院
- 15) 「현대한국어의 連體形 과 에 대하여」The Second Pacific Basin International Conference on
Korean Studies 第 2 回韓國学環太平洋國際會議 言語学部会. 1994 年 7 月 27 日. 東京:神田
外語学院
- 16) 「朝鮮語の文の構造について」国立国語研究所公開研究発表会. 1995 年 12 月 9 日 東京:国立国
語研究所
- 17) 'Oigug'eise'yi hangughag hienhoanggoa jenmang' (外国における朝鮮学の現況と展望)
Jei 3 hoi Dong-Asia gugjie hagsur simpojum (第 3 回 東アジア國際學術シンポジウム)
1996 年 ソウル:プレスセンター
- 18) 'hangug'e munjang'yi gieicynggujo*ei daiha'ie' (朝鮮語の文の階層構造について)
ソウル:韓国言語学会 夏季學術大会 1996 年
- 19) "irbon'ehoaja'yi hangug'e hagsyb'ei natanany bar'ymsang'yi jeimunjei - phonemic unit
'oa prosody, tyghi pitch 'ei daiha'ie' (日本語話者の朝鮮語学習に現れる発音上の諸問題)
“SICOPS '96 : The First Seoul International Conference on Phonetic Sciences”
(第 1 回ソウル國際音声学學術大会) ソウル:大韓音声学會 1996 年 10 月
- 20) 'munbeb'ienngu'yi bangbeb: hiendaihangug'e munbeb'ienngu'yi hiendangie'
(文法研究の方法:現代朝鮮語文法研究の現段階)
ソウル:ソウル大学校韓國文化研究所 1996 年 12 月 11 日
- 21) 'hangug'e munjang'yi gieicynggujo'oa goanhiengjergujo' (朝鮮語の文の階層構造と冠形節構
造)
ソウル:ソウル大学校語学研究所第 149 回 語学セミナー 1997 年 2 月 18 日
- 22) 'munbeb'yi bangbeb' (文法の方法) 大邱:嶺南大学校 民族文化研究所 1997 年 1 月
- 23) 「韓国報告といくつかの発表論文について」
第 138 回朝鮮語研究会 1997 年 9 月 30 日. 東京:神田外語学院
- 24) 「韓国語教育の諸問題」 2001 年 3 月 9 日 筑波大学
- 25) "irbon'eiseyi hangug'e gio'iug"(日本における韓国語教育)
第 11 回 國際韓國語教育学会(IAKLE) 國際學術會議 -言語圏別の韓国語教育- 主題発表
ソウル:高麗大学校仁村記念館 2001 年 8 月 11 日・12 日
- 26) 'hangug'e dan'egierhabron'yi siahoaryr uiha'ie'(韓国語単語結合論の深化のために)
ソウル:國語學會. 2001 年 12 月.
- 28) "When Words Form Sentences: Linguistic Field Theory -- From Morphology through
Morpho-Syntax to Supra-Morpho-Syntax" 2003 年 11 月 28 日 - 29 日. 形態論國際ワークショ
ップ. ソウル:ソウル市立大学.
- 29) "hangug'e'yi bunsegjeg'in hiengthai'ei daiha'ie" 2003 年 11 月 28 日 - 29 日.
形態論國際ワークショップ. ソウル:ソウル市立大学.
- 30) 「現代朝鮮語の丁寧化のマーカ―"-yo/-iyo"」について」
第 212 回朝鮮語研究会. 2005 年 12 月 26 日. 東京:東京大学.
- 31) 「일본에서의 한국어 연구 -- 현대 한국어 문법 연구를 중심으로」
International Conference Commemorating the 60th Anniversary of SNU and the 230th
Anniversary of the Kyujanggak Archive
ソウル大学校ホアムコンベンションセンター. 2006 年 6 月 1 日.

- 32)「韓国語教育のアイデンティティ定立のために」主題討論. 第 17 回国際韓国語教育学会国際学術大会. 2007 年 8 月 12 日. ソウル:延世大学校
- 33)「現代朝鮮語研究の新たなる視座:〈言語はいかに在るか〉という問いから——言語研究と言語教育のために——」. 第 59 回朝鮮学会大会公開講演. 柏:麗澤大学.
- 34) ‘대우표현과 대우법—— 몇 가지 시각’(待遇表現と待遇法). 제 4 회 배재대학교 한국어교육 국제학술대회, 2008 日韓韓国語教育国際学術大会. 柏:麗澤大学
- 35) 日韓言語学会議. 2010 年 11 月 12 日-13 日. 柏:麗澤大学
- 36) 招待講演「한글의 탄생: 知的 혁명」第 3 回海外碩学講義. 2012 年 2 月 6 日. 인하대학교(仁荷大学校) BK21 동아시아 한국학 사업단(東アジア韓国学事業団)主催. 仁川:仁荷大学校 5 남 136 호.
- 37)「現代韓国語研究の焦点」. 講演. 藤本幸夫教授御退休記念シンポジウム「朝鮮文化研究の成果と可能性」. 2012 年 2 月 25 日. 柏:廣池千九郎記念講堂. 麗澤大学
- 38) 第 7 回海外学者招請講演「한글의 탄생: 문자라는 기적」2012 年 5 月 30 日. 연세대학교(延世大学校)人文学研究院 HK 文字研究事業団主催. ソウル:延世大学校 외솔관 526 호.

■ 5.2. 韓国語教育関連学会発表と講演-----

- 「朝鮮語教育のカリキュラムについて——東京外国語大学の場合——」第 44 回朝鮮学会第 1 回朝鮮語教育報告会. 1993 年 10 月 3 日. 天理:天理大学
- "irbon'e mo'ehoaja hagsybjaryr 'uihan hangug'e gico hagsyb'ehui senjenggoa jeisibangbeb'ei daiha'ie" (日本語母語話者学習者のための韓国語基礎学習語彙選定と提示方法について) 第 2 回 韓国語教育 国際ワークショップ 「韓国語教育と学習辞典」 主催:延世大学校言語情報開発研究院. 2001 年 11 月 16 日. ソウル:延世大学校 新商大
- 'irbon daihag daihaguen'yi hangug'e gioiug' (日本の大学の大学院における韓国語教育) 2003 年 8 月 9 日. gugjeihangug'egioiughaghoi (第 13 回国際韓国語教育学会 IAKLE 国際学術大会). ソウル:ソウル大学校.
- "'irbene hoajaryr daisangyro han hangug'e giogoase'yi salroyn banghiang" (日本語話者を対象にした韓国語教科書の新たな方向) 2004 年 8 月 14-15 日. 国際韓国語教育学会第 14 回国際学術大会. 企画討論. ソウル:祥明大学校ミレニアム館国際会議室.
- 主任講師:韓国語教師研修. 2004 年 8 月 23 日-27 日. 韓国大使館韓国文化院主催. 東京:国際文化フォーラム. 担当講義:「序論:日本における韓国語教育の現在」「教材論:いかに選ぶか, いかに作るか」「文法 II:用言の活用と形を教えるために」「教育実習ワークショップ」「教育実習」
- 「NHK(일본방송협회) 텔레비전 교육 방송을 통한 한국어 교육」 (NHK(日本放送協会)テレビ教育放送による韓国語教育) (金珍娥と共同発表) 2005 年 8 月 6 日. 国際韓国語教育学会第 15 回国際学術大会. ソウル:漢陽大学.
- 主任講師:韓国語教師研修. 2005 年 8 月 15 日-19 日. 国際文化フォーラム. 韓国大使館韓国文化院主催.
- 「일본 텔레비전 방송을 통한 한국어 교육의 시도—— 라디오 방송 교육과 WEB 기반 교육을 참조하면서——」 (日本のテレビ放送による韓国語教育の試み——ラジオ放送教育と WEB 基盤教育に照らして) 国際韓国(朝鮮)語言文学教育研究学術研討会議. 2005 年 10 月 1-3 日. 上海:復旦大学.
- 対談「新しい時代の東北アジアと日本における韓国語教育」 専門家招請 第1回 韓国語教育フォーラム 韓・日 新時代と日本における韓国語教育 (原題韓国語). 2006 年 4 月 1 日. 明治学院大学東京白金校舎. 韓国言語文化研究院主催.

- 講義「対照言語学」韓国言語文化研究院主催. 第1期韓国語教員養成課程. 2006年6月22-23日. 東京:国際文化フォーラム.
- 主任講師:韓国大使館韓国文化院主催. 第3回韓国語教師研修. 2006年8月14日-18日. 東京:国際文化フォーラム. 担当講義:韓国語教師研修序論. 用言の活用を教えるために:日韓対照用言活用論.
- 招待発表「韓国語教育の原理論としての対照言語学的接近——日本語と韓国語を中心に——」(韓国語) 2006年8月5日. 国際韓国語教育学会第16回国際学術大会. ソウル:成均館大学600周年記念館『韓国語 教授=学習方法論の再定立』pp.202-230
- 招待発表「日本における韓国語教育の諸問題」『修交40周年記念 日韓学術交流の現状と展望』第3回日韓人文社会科学学術会議. 2006年8月31日. 柏:麗澤大学.
- 主任講師:韓国大使館韓国文化院主催. 第4回韓国語教師研修. 2007年8月. 東京:工学院大学
- 講演「外国語教育のために——教師と教材が目指すもの」明治学院大学教養教育センター主催. 外国語教育に関わる研修会. 2007年3月. 明治学院大学.
- 講演「언어를 배우는 〈근거〉는 어디에 있는가—— 한국어 교육의 시점——」. 한글 학회 창립 100돌 기념 국제 학술 대회. 서울: 건국대학교 신천년관. 2008년 8월 30일. 서울: 한글 학회「ことばを学ぶ(根拠)はどこにあるのか」(韓国語) ハングル学会創立100周年記念国際学術大会. 2008年8月. ソウル:建国大学校
- 講義「ことばを学び=教えることを考える」「韓国語教材をいかに作り, いかに選ぶか」韓国語教師研修 2008. 2008年8月11日. 大阪:大阪国際交流センター.
- 招待発表「朝鮮語の教科書が目指すもの」. 2008年11月1日. 外国語教育学会. 東京:東京学芸大学.
- 講師「これからのコミュニケーション教育——〈話すこと〉と〈聞くこと〉」第1回駐日韓国文化院世宗学堂韓国語教師週末研修. 2011年6月5日. 東京:駐日韓国大使館韓国文化院

■ 5.3.一般講演-----

- 講演「ハングルの誕生」日韓文化交流基金主催. 2010年9月24日. 東京:日韓文化交流基金
- 講演「ハングルの世界」駐日韓国大使館韓国文化院・韓国国際交流財団主催, 駐日韓国文化院世宗学堂共催. 2010年10月20日. 東京:韓国文化院
- 特別講義「ハングル——〈知〉の革命」駐日韓国教育院主催. 2010年12月18日. 東京:東京大学
- 講演「〈ハングルの誕生〉から」韓国国立国語院院内討論会. 2011年4月25日. ソウル:国立国語院
- 講座「ハングルの誕生:奇跡の〈文字〉・〈文字〉という奇跡」朝日カルチャーセンター・朝日 JTB 文化交流塾. 2011年6月4日. 横浜:朝日カルチャーセンター
- 講演「ハングル:〈文字〉という奇跡」日本エスペラント学会主催「エスペラントの日」記念公開講演会. 2011年6月11日. 東京:日本エスペラント学会
- 講演「ハングルの誕生:〈知〉の革命」異文化相互理解事業講演会. 宝塚市, 宝塚市国際交流協会, 宝塚市外国人市民文化交流協会主催. 2012年2月28日. 宝塚:宝塚市立文化施設ベガ・ホール
- 講演「ハングルの誕生:〈知〉の革命」文化講演会. 東京外語会主催. 2012年3月10日. 東京:東京外国語大学本郷サテライト●講座「ハングルの誕生:〈知〉の革命」朝日カルチャーセンター・朝日 JTB 文化交流塾. 2012年7月21日. 川西:朝日カルチャーセンター

公的資金による研究

■ 6. 文部科学省科研費／公的資金による研究課題(研究代表者)-----

- 朝鮮語と日本語の自動翻訳研究基礎資料の構築と公開. 2000年－2001年. 科学研究費基盤研究(C).
課題番号:12610543. 3,247,000円
- 日本語と韓国語の非対称構造に関する基礎研究. 2007年－2008年. 科学研究費基盤研究(C).
課題番号:19520331. 3,510,000円
- 韓国国際交流財団 Fellow. 1996年.

現代美術の分野における活動

■ 7. 現代美術分野における活動 -----

1976年-1980年に8回の個展, 1976年-1986年に東京, 横浜, 京都, 神戸, ソウル, プラハ, オストラバ, ワルシャワ, ポズナニなどで計39回の美術展に出品. 1977年第13回現代日本美術展佳作賞受賞, 1979年第6回英国ブラッドフォード国際版画ビエンナーレ展, 1979年大邱現代美術展, 1979年第13回リュブリアナ国際版画ビエンナーレ展など. 詳細は下記.

個展:

- 1977: Sato Gallery (Tokyo)
- 1977: Muramatsu Gallery (Tokyo)
- 1978: Lunami Gallery (Tokyo)
- 1978: Sato Gallery (Tokyo)
- 1978: Maki Gallery (Tokyo)
- 1979: Muramatsu Gallery (Tokyo)
- 1980: Maki Gallery (Tokyo)
- 1980: NDA Gallery (Sapporo)

書籍:

- 1983: "Dance of Silence: Sin Cha Hong" (Book, Photographs)
- 1998: "A Spiral Dancing for Freedom: Sin Cha Hong" Film-Art-Sya (Book, Photographs).
ISBN4-8459-9884-X

公募展・グループ展など

- 1971: Four-men Show, Yamada Gallery (Otaru, Hokkaido)
- 1971: Group Exhibition, Tokyo University of Education (Tokyo)
- 1971: Group Exhibition, Waseda University (Tokyo)
- 1973: Film Show, Ochanomizu Women's University (Tokyo) 1975: Group Exhibition, Gallery JOINT (Tokyo)
- 1976: Group Exhibition, Ginza Meiji Gallery (Tokyo)
- 1976: 12th Contemporary Art Exhibition of Japan, Tokyo Metropolitan Museum (Tokyo)
- 1976: 2nd Independent Exhibition of Prints in Kanagawa, Kanagawa Prefectural Gallery (Yokohama)
- 1976: 2nd Tokyo Art Show, Tokyo Metropolitan Museum (Tokyo)
- 1977: Exhibition "Delay on Spiral", Kanagawa Prefectural Gallery (Yokohama)
- 1977: "Art as Photography, Photography as Art", Hamanoya Gallery, (Tokyo)

- 1977: Kyoto Independent Exhibition, Kyoto City Museum (Kyoto)
1977: 13th Contemporary Art Exhibition of Japan, Awarded Prize for Excellent Work, Tokyo Metropolitan Museum (Tokyo, Kyoto)
1977: Exhibition '77 "KIZASHI -- Omen", Kanagawa Prefectural Gallery (Yokohama)
1977: "Works in September", Shirakaba Gallery (Tokyo)
1977: A Small Self-Portrait (Mail Art Project by Duck-Jun Kwak) (Kyoto)
1977: 3rd Independent Exhibition of Prints in Kanagawa, Kanagawa Prefectural Gallery (Yokohama)
1977: "BIG EVENT '77 -- We will not finish it as EVENT", Kobayashi Gallery (Tokyo)
1978: "The Affair of Photography", Hamanoya Gallery (Tokyo)
1978: Kyoto Independent, Kyoto City Museum (Kyoto)
1978: Exhibition "Spiral", Kanagawa Prefectural Gallery (Yokohama)
1978: Exhibition '78 "KIZASHI -- Omen", Kanagawa Prefectural Gallery (Yokohama)
1978: 4th Independent Exhibition of Prints in Kanagawa, Kanagawa Prefectural Gallery (Yokohama)
1978: Exhibition "EXPERIENCE BOOK", Maki Gallery (Tokyo)
1979: 6th British International Print Biennale (Bradford, England)
1979: "7 Artists in Korea and Japan", Han-Kook Gallery (Seoul, Korea)
1979: participated in the Exhibition by Vlasta Cihakova-Noshiro, Ai Gallery (Tokyo)
1979: "Roots of Image", Gallery Westbeth (Nagoya)
1979: 5th Daegu Contemporary Art Festival (Daegu, Korea)
1979: 13th International Biennial of Graphic Art (Ljubljana, Yugoslavia)
1979: "Real Space", Tokiwa Gallery (Tokyo)
1979: "7 Artists of Korea and Japan", Maki Gallery (Tokyo)
1979: Exhibition "TIME", Gallery Kitano Circus (Kobe)
1980: "DROGA(way)" Wroclaw City Photo-Museum-Art, Gallery 2 (Katowice, Poland), Galeria O.N. (Poznan', Poland)
1980: "Pictorial Vision" Kojima Gallery (Tokyo)
1981: "DROGA(way)" Stara Gallery (Warszawa, Poland)
1981: "Portrait, Still Life, Landscape in Photograph" Praha National Industrial Art Museum (Praha, Czechoslovakia), Ostrava City Culture Centre (Ostrava, Czechoslovakia)
1982: 3rd "Messages of Sight" Kwanhun Museum (Seoul, Korea)
1986: "Art: A Dialogue on Peace" Okurayama Museum (Yokohama)

野間秀樹

2012年8月10日現在